

佐賀県研究成果情報

無核栽培ブドウの短梢せん定栽培導入による栽培管理の省力化					
[ 要約 ] <u>ブドウの短梢せん定H型整枝栽培</u> は、せん定や新梢管理、房管理が効率的に行えるため、作業時間が <u>長梢せん定自由整枝</u> に比べ短縮でき、 <u>省力化</u> となる。					
果樹試験場・落葉果樹研究担当				連絡先	0952-73-2275
部会名	果 樹	専 門	栽 培	対 象	ブドウ

[ 背景・ねらい ]

佐賀県におけるブドウ栽培は長梢せん定自由整枝による仕立て方がほとんどであるが、せん定や枝の誘引、房管理など専門的な技術が必要であり、繁雑な作業が多く、労力がかかっている。そこで、短梢せん定導入による作業の省力化を図る。

[ 成果の内容・特徴 ]

- 1．短梢せん定のせん定時間は長梢せん定の約 1 / 5 となる（表 1）。
- 2．短梢せん定の新梢管理（誘引、摘芯）時間は長梢せん定に比べ約 1 / 3 となる（表 2）。
- 3．短梢せん定のジベレリン処理時間は長梢せん定に比べ約 2 / 3 となる（表 3）。
- 4．短梢せん定の房管理は花（果）房が一直線上に着房するため作業効率が良い（図 1）。

[ 成果の活用面・留意点 ]

- 1．本試験は「ピオーネ」「巨峰」「紫玉」を供試したものである。
- 2．短梢せん定栽培は県内のハウスおよびトンネル栽培ブドウ園で導入できる。
- 3．短梢せん定栽培のせん定は結果母枝の基部 2 芽を残すせん定を行う。
- 4．短梢せん定栽培では主枝延長枝の発芽率を 100% 近くに高めることが重要であるため、芽キズ処理を行う。
- 5．短梢せん定栽培は有核栽培では結実が不安定なため無核栽培とする。

[ 具体的データ ]

表1 ブドウの短梢せん定H型整枝と長梢せん定自由整枝におけるせん定時間の比較

試験区	せん定 (時間 / 10a)	誘引 (時間 / 10a)	合計 (時間 / 10a)
短梢せん定H型整枝	7.7	4.0	11.7( 20) <sup>a)</sup>
長梢せん定自由整枝	31.0	26.7	57.7(100)

a ) ( ) 内は長梢せん定自由整枝を100とした場合の比率

表2 ブドウの短梢せん定H型整枝と長梢せん定自由整枝における新梢管理時間の比較

試験区	誘引 (時間 / 10a)	摘芯 (時間 / 10a)	合計 (時間 / 10a)
短梢せん定H型整枝	1.3	3.7	5.0( 29)
長梢せん定自由整枝	9.3	7.7	17.0(100)

表3 ブドウの短梢せん定H型整枝と長梢せん定自由整枝におけるジベレリン処理時間の比較

試験区	1回目 (時間 / 10a)	2回目 (時間 / 10a)	合計 (時間 / 10a)
短梢せん定H型整枝	10.7	8.0	18.7( 69)
長梢せん定自由整枝	15.3	11.7	27.0(100)

注) 短梢せん定H型整枝は樹齢7年生、主枝長5mの4本主枝で樹冠面積は約40m<sup>2</sup>、長梢せん定自由整枝は樹齢9年生、樹冠面積約42m<sup>2</sup>である。



図1 仕立て方の違いと着果状況の比較  
写真左：短梢せん定H型整枝の着果状況  
写真右：長梢せん定自由整枝の着果状況

[ その他 ]

研究課題名：ブドウ新品種の生産安定と省力化栽培技術の確立

予算区分：県単

研究期間：平成10～16年

研究担当者：福田浩幸、稲富和弘、前山美和

発表論文等：平成16年度果樹試験場業務年報（掲載予定）